



広報せき

Seki Gocoro

2021
07

No.1725

巻頭特集

緑のおじさん



Seki Gocoro 07

SEKI City Community Magazine

TOPICS

コロナワクチン	6P
夏休み親子教室	8-9P
INFORMATION	14-26P
子育てカレンダー	29P

雨の日も、風の日も、寒い冬も、暑い夏も、
街角に立ち続ける人たちがいます。
子どもを見守り続けるその人たちは、
親しみと敬意をこめてこう呼ばれています
「緑のおじさん」と。

いつもそこに 緑のおじさん おばさん



GREEN
GENTLEMAN

緑のおじさん・おばさん!!



緑のおじさん、緑のおばさん（以下、緑のおじさん）。皆さんはご存じでしょうか。名前は聞いたことがなくても、毎朝、登校の時間帯に交差点や信号のない横断歩道で、緑のベストを着たおじさん、おばさんを見たことがある人は多いことでしょう。その人たちは「緑のおじさん」と呼ばれています。

緑のおじさんには、いろいろな人たちがいます。通学路の安全を見守る学校安全支援者、地域の交通安全協会のメンバー、PTA役員、自主的なボランティアなどの皆さんです。その中でも、最も多いのが、自主的なボランティアとして通学路に立つ人たちです。誰から言われなくてもなく、報酬が出るわけでもなく、名譽を得られるわけでもなく、ただ地域の子どものを我が子のように見守る人たち。



子どもたちの安全を守りたい、その一心で通学路に立っています。いつも同じ場所、変わらぬ笑顔で声をかけてくれます。小学生の頃は元気に挨拶を返してくれた子どもたちも、中学生、高校生になると気恥ずかしく感じることもあるかもしれません。でも、大きくなった時に気づくことでしょうか。緑のおじさんに優しく見守られていたことを。い気にかけてもらっていたことを。いずれ、地域の子どものを見守る大人へ成長していったらいい、緑のおじさんたちはそう願って今日も笑顔で街角に立ち続けます。



緑のおじさん大全

★=特殊装備バージョン

キャップ

日差しや風雨などからおじさんを守る大事な道具。これを振って車を制御することも。もちろん、止まってもらった車にはキャップをとってお礼をします。

多用度…95
UVカット…90



笑顔と挨拶

元気度…100
発動率…100
鼓舞…100
値段…プライスレス



緑のおじさんがみんなに愛されるゆえん。すれ違う人たちを幸せにします。ただし、ルール違反は厳しく注意します。やさしさと厳しさを併せ持つのが緑のおじさん。

★安全反射ベスト

防御力…50-100
士気…95
反射性…100



緑のおじさんの代名詞。身にまとうことで元気もやる気もレベルアップ。中には警察仕様の鉄板入りベストを着用している強者も。色褪せた緑が長年の活動を物語っています。

★横断旗

個性…50-100
必要性…100
防御力…80

緑のおじさんのまさに相棒。各々がいろんな形にカスタマイズしている。3メートルほど伸びる伸縮棒に横断旗を付けている人も。個性が一番現れる道具です。



停止旗

レア度…90
威力…95
重さ…80
停止力…95

使いこなすには熟練の技が必要。講習で正しい使い方を学ぶなど、緑のおじさんは見えないところで努力を惜しみません。



バッジ

着用率…70
公式度…100
値段…非売品
団結力…90



生涯学習課の子ども見守りボランティアに登録するともらえるバッジ。多くの人が、散歩をしながら、庭の手入れをしながら、子どもたちを見守ってくれています。

誘導棒

難易度…90
視認性…100(夜)
武勇…90
かっこよさ…95

誘導棒を使いこなせるのは歴戦の勇者のみ。相当の技術と覚悟を要する道具。感覚の一部となるまで使い方を体に染み込ませます。「Don't think...feel!」



「市公式チャンネル」(You Tube)で特集映像をお楽しみいただけます。



GREEN
LADY

やまだ ひでこ

山田秀子さん

(82歳)

永昌寺下[瀬尻小]

活動を始めようと思ったきっかけはなんですか？

仕事を定年退職した20年ほど前に、地区の交通委員を1年間やる機会があって、月2回ほどでしたが、通学路に立つことになりました。最初は交通量の多い交差点に立っていました。が、その場所にはすでに何人か立っていて、子どもたちも安全に横断できている様子でした。せっかく立つなら、危険だけども人が立っていない場所のほうが効果的だと思い、自宅近くの現在の場所に立つように。

具体的活動内容を教えてください

た後も、同じ場所に立って子どもたちの通学を見守ろうと決めました。

小瀬・永昌寺下の横断歩道の10mほど手前に立って、車が来ていないことを旗で伝えることが私の役割。ここは道が広くカーブしていて、運転手から子どもたちの姿を認識しづらい場所なんです。私がそのカーブしている場所に立ち、車が来ていないことを確認し旗を出す、他のボランティアの方がそれを見て、横断歩道を渡れるように子どもたちを誘導してくれれます。お互いに申し合わせたわけではなく、毎日の活動の中

で行き着いた「あうんの呼吸」ですね。

長く続けられるポイントは何ですか

毎朝子どもたちから元気をもらっているのが、大変だなと感じたことは一度もありません。おかげさまでこの10年、風邪をひいたことがないくらいです。この活動で意識しているのは、こちらから挨拶すること。看護師時代からの習慣です。最初は挨拶をしても照れくさそうにしていた子が、しばらくすると大きな声で挨拶を返してくれるようになって、とてもうれしいですね。

こうして少しでも地域の役に立てていると思うと、また明日も子どもたちに会いに行こうと思えます。



梅ヶ枝町交差点は、交通量が非常に多い場所です。ここは、お子さんが小学生になるところから炭竈さんが見守ってこられました。10年ほど前に、ご近所の小川さんへバトンタッチし、思いが引き継がれる形で現在に至っています。

炭竈——上の子が小学校に上がるとき、安全のため毎朝一緒に登校することになりました。この交差点は交通量が多いうえ、当時の通学路は歩道が狭く、踏切もあり危険でした。私は、いつも踏切まで送ったあと、そのまま踏切のところに立ち、他の班の子どもたちを迎えるようになり、子どもたちから「踏切のおばさん」と呼ばれていました(笑)。今でも当時の何人かは、覚えてくれていて声をかけてくれます。

小川——炭竈さんはご近所だったので、僕も頑張っていることは知っていました。10年前、私の孫が1年生になるときに炭竈さんからこの交差点を託されました(笑)。もともとこの交差点は危ないと思っていましたし、自分でも地域の子どものために何かできるのでは、と炭竈さんに相談して、立つようになりました。

小中学生、高校生、専門学校生、社会人、外国人、地元の人など多種多様な人々がこの交

差点を渡っていきます。小川さんは、すべての人の目を見て挨拶をしているのが印象的です。ここを通る人には、皆さんに挨拶をしています。一日元気で頑張っています。一日元気で頑張っています。一日元気で頑張っています。

誰か一人でも

見ていてくれるれば、

踏ん張れる子がいる

登校をしむったり遅刻をしてしまいがちな子がいます。私は、登校時間が終わると家に帰ってきますが、そういう子が家の前を通ると追いかけて行って、手を引っ張って交差点と一緒に渡るようにしています。誰か一人でも家族以外で自分のことを受け入れ見えてい

くれる人がいれば、踏ん張れる子もいるのではないかと考えています。



私が立っている横断歩道をいつも通る若い男性がいます。挨拶をしても反応がありませんでしたが、いつの頃からか目だけ挨拶を返してくれるようになりました。もちろん今でも声は出しません。でも、いつか彼が「あの交差点にうるさいおじいさんがいたなあ」と思い返してくれればそれで十分です。



GREEN
LADY
すみかま ひとみ
炭竈ひとみさん

GREEN
GENTLEMAN
梅ヶ枝町交差点
[安桜小]
おがわ かずみ
小川和美さん (76歳)



GREEN
GENTLEMAN

かみや やすひさ
神谷泰久さん
(70歳)

JAめぐみの田原支店前交差点【田原小】

「大人の姿勢は
子どもに伝わる」
活動で大事にしていることを
教えてください。

「田原子ども見守りボランティア」という組織を立ち上げて活動していますね
子どもたちの安全を守るために平成17年に立ち上がりました。当時、子どもに対する凶悪事件が問題になっていて、田原地区で起きないようにと、有志が呼びかけ、わずか4日で70人以上を集めて安全宣言を出しました。それをきっかけに今の組織を設立。対岸の火事ではなく、我が事としてとらえ何ができることはないか、という思いを多くの方が持っていたことは素晴らしいことだと感じています。

「正しい姿勢」「会釈」「挨拶」です。いつも交差点に立つときは、つま先に力を入れ踏み張って立つようにしています。車を止めなければいけないときに、子どもだけでなく自分の命も守れないといけないからです。それに、おじさんであってもピシッと立つ大人の姿勢はカッコいいものだと思いますし、子どもたちにも伝わっているものだと思います。
人、お金、道具、ルールなど何もないところからスタートしました。そのつど、考えるより先にやってみて、その中で気づいたことを組織にフィードバックする形で進めています。また、活動を通していろいろな出会いがあり、人と人がつながってみんなの輪が大きくなってきました。今では、毎朝の見守りだけでなく、行方不明者を探し

「子どもが主役、
地域は応援団」



ただ、組織が大きくなると、どうしても学校やPTAなどへ「ああしたらどうだ」とか言ってしまうがちです。しかし、やはり子どもが主役であり、学校が子どもの活動の中心であるので、あくまでも地域は応援団です。学校からの連絡があれば、会員がすぐに動ける体制を整えていて、そこには「何かをしてあげる」という意識はなく、対価を求めず、ただ、子どもたちの安全を守ることができれば、それでいい。今後、学校、PTA、地元企業、地域のみなさんと協働し田原地区を支えていければと思います。

VOICE まちの声
みんなの声

「緑のおじさんありがとう」



田原小保護者
ながたのりこ
永田典子さん

私たちの地区には幹線道路があり、通勤時間帯は交通量が多くなります。学校へは幹線道路を渡って行かなくてはならず、一部は歩道が狭い箇所も…。でも、毎日立っていただける緑のおじさんのおかげで、運転手さんも子どもに気づいて、減速、停止してくれます。安心して子どもを送り出すことができ、本当に感謝しています。

僕は、分団の班長をやっています。緑のおじさんや前班長がやっていたことを見習って、旗をしっかりと出すこと、止まってくれた車にお礼(お辞儀)をすることを心がけています。学校の校外学習や農業体験にも一緒に来てくれる緑のおじさん。僕なら少しは休んじやうだろうけど、毎日続けられるなんて本当にすごい。尊敬の気持ちも込めて、おじさんたちに今日も大きな声で挨拶します!



田原小6年生
いけだこうせい
池田 倅彗くん



瀬尻小校長
ふかおつあき
深尾 鉄明さん

登校の時間帯は、子どもたちが注意するだけでは危ない箇所がたくさんあります。緑のおじさんには、交通量の多い危険な場所で、毎日子どもたちを守っていただいております。大変ありがたいと思っています。また、皆さんの挨拶のおかげで、子どもたちは挨拶の大切さを学んでくれていると思います。

不審者による子どもへの声かけなどは、ほぼ登下校の時間帯に発生しています。緑のおじさんに立っていただいているのおかげで、そういった事案の抑止につながっており大変感謝しています。警察としては今後も、庭の水やりや散歩などをしながら子どもたちを見守る「ながら見守り」をより多くの方々にご協力していただけるよう呼び掛けていきたいです。



関警察署 生活安全課長
えさきよしひこ
江崎 義彦さん

子どもたちや地域の人たちが安心・安全に過ごせるように
緑のおじさんは今日も街角に立ってみんなを見守っています!!